

2019年度

ND教育センター活動報告

2020年9月1日発行



ごあいさつ

ND教育センター長 神月 紀輔

2020年4月に前センター長の中村久美学長からバトンを受け取り、着任いたしました。昨年度は教務委員長としてND教育センター会議には参加させていただいていたものの、授業部分以外に関して、細かく計画され実践されていることに驚いております。これも本センターに関わっていただく、すべての教職員の皆さまのおかげと感謝しております。

さて、2021年度のカリキュラムの改編を控え、2019年度より共通教育の改編に取り組んできた成果がいよいよ試されます。基礎的な英語学習や語学習得のための学習、情報機器の操作に慣れ、情報を活用するための学習、また知識を広げるための教養科目など、学生の皆さんの今後の学びの基盤になる学習の提供に一層努力を重ねたいと思います。

また、これまでバラバラ感のあった高大連携特にノートルダム女学院中学高等学校との連携は、担当者の努力によって日常化しつつありますが、さらに中高大の生徒・学生にとって実りのあるものにしていきたいと思っております。また、入学前教育においても参加者も増え、先生方のご負担もありますが、入学時にすぐに大学の学びにのるようになるため、どうかよろしくごお願い申し上げます。

今後とも、学生の学びの質保証・質向上に向けて、取り組みを加速させる所存です。今回の報告をご覧いただき、センター委員を通してご指導ご鞭撻をいただきましたら幸いです。

2020年9月1日

名称変更

2017年度(平成29年度)の本格始動から3年目を迎えた「徳と知教育センター」は、「本学らしい学びの質的転換の推進役」を目指し、主に共通教育の整備に努めてきました。2019年10月1日、その後の大学教育への要請に応じて、教育の質の向上とその保証へのいっそうの取り組みをわかりやすく大学内外に発信する必要から、「京都ノートルダム女子大学教育

センター(通称:ND教育センター)」に改称しました。さらにこの機会に、学生への学修支援の業務を規定化すると同時に、より精力的に業務を遂行できるよう、部会の設置も視野に入れ、規程を整備しました。全学基盤教育に関わる開発、整備や検証、それに学修支援の拠点として、ND教育センターの取り組みへの理解とご協力を、どうぞよろしくお願いたします。

2021年度始動 新共通教育課程に向けて

現行課程の検証と教学マネジメント会議の方針に基づき、2021年度からの共通教育課程について検討作業をすすめました。

創立60周年を迎える2021年度より、「『対話』から始まるND教育」として、右の3つの柱を軸に人・物・事との対話を大切にしたい新しい学びを始

めます。

1. 4年間を通じて積み上げる「ことば」の教育
2. 授業内外の学習で、深く、広く学ぶ
3. 「失敗」から学ぶ—主体性を持って人・物・事と対話する

授業評価アンケート

教育の質的向上を目的に、授業の最終段階で学生が授業を振り返るアンケートを実施。

実施対象者:全受講生(学部)

実施科目:開講する学部の全科目(一部期間外の学外実習科目を除く。)

実施方法:manabaで回答。

※ND教育センターでの実施・集計後、共通教育科目についてはND教育センターで、専門科目についてはFD委員会で、それぞれ分析を行います。

・前期(夏期集中含む)

実施期間:2019年7月10日(水)~7月30日(火)

(夏期集中科目 開講期間中~9月25日(水))

フィードバックコメントの記入期間:7月30日(火)~8月26日(月)

回答率:50.5%(受講者総数11557、回答数5841)

・後期(春期集中含む)

実施期間:2020年1月7日(火)~2月5日(水)

(春期集中科目 開講期間中)

フィードバックコメントの記入期間:1月29日(水)~2月25日(火)

回答率:40.9%(受講者総数11284、回答数4613)

英語実力テスト

1年生対象のGTECを用いたテストを、4月と2月に実施(4月は実力テスト、2月はアチーブメントテスト)しました。本テスト結果は、英語力向上のための方策にも活用しています。なお、2020年度は必修英語科目と連携し、本学で必要とする英語力を測定できる独自のテストを行う予定です。

・実力テスト

2019年4月10日(水)国際日本文化学科・福祉生活デザイン学科・心理学科

4月17日(水)英語英文学科・こども教育学科

・アチーブメントテスト

2020年2月5日(水)全学科

i-Space活動報告

全学生の英語力向上と異文化理解を目的としたイベントを、ユージニア館2階イマージョンスペースで実施しました。

・前期

ランチタイムイベント

Q&A Café	20名(毎週月曜、全13回)
Pop culture	72名(毎週火曜、全13回)
Games Day	21名(毎週水曜、全13回)
Easy English	49名(毎週木曜、全14回)
Quizlet	35名(毎週金曜、全14回)

夕方イベント

Yoga	28名(毎週木曜、全14回)
Craft club	10名(全3回)
Cooking club	10名(全3回)
Movie night	10名(全3回)
Karaoke	6名(全2回)

スペシャルイベント

Welcome Party	20名(4月24日)
Aroma event	8名(6月5日)
Tanabata Party	2名(7月3日)

・後期

ランチタイムイベント

(英語英文学科生を中心に参加を呼びかけ、より英語力を高められる内容に変更)

Pecha Kucha	306名(毎週月曜、全13回)
Poster presentation	307名(毎週月曜、全14回)
Show and tell	211名(毎週月曜、全14回)
Instagram accounts	194名(毎週月曜、全14回)

夕方イベント

Yoga	25名(毎週金曜、全14回)
Craft workshop	14名(全3回)
Cooking workshop	16名(全3回)
Movie night	0名(全3回)
Karaoke	3名(全3回)

スペシャルイベント

Halloween Party	30名(10月31日)
Christmas Party	5名(12月18日)



学習サポート

・「レポート作成の基礎づくり」

2019年9月から、manabaを使用した学習サポート「レポート作成の基礎づくり」を行っています。センターが提供するレポート作成に関する課題に学生が取り組むことにより、苦手意識を克服し、段階的にレポート作成の基礎を身につけていきます。2019年度は以下のとおり実施しました。

1. 敬体と常体 27名
2. 文語と口語 20名
3. 「私は(わたしは)」「～と思う」を避ける 13名
4. 句読点の使い方 12名
5. 括弧の使い方 9名

2020年度は後期に、また2021年度からは年間で積み上げられるよう再設定のうえ実施します。

★学生の声

国際日本文化学科 3年次生 K・Hさん

1年次生の頃に授業でレポートの書き方を教えていただく機会や、そのような授業を履修していたのですが、どこか自信がなかったためチャレンジしてみました。基礎の基礎から学ぶことができたため、レポートを書く際にも自信がつくようになりました。皆さんもぜひ挑戦してみてください。

・学習相談

ND教育センターでは、事務室開室時間に学習相談を実施しました。2020年度は、状況を見ながら、ユージニア館でも実施します。

入学前教育実施報告

高校での学びから大学での学びへスムーズに移行できるよう、おもに早期入学予定者を対象に入学前教育・講座を実施しています。

・入学前学科課題

入学予定の学科について、さらに関心を高めるため、学科ごとに設定された課題に取り組み学科教員と書簡でのやりとりを行いました。

対象入試：ノートルダム女学院高等学校内部進学推薦、指定校推薦、AOI・II期、公募制推薦I・II期

提出率：87.6%(対象者315名、提出者276名)

・入学前教育講座(2020年2月13日(木)・14日(金)実施)

ノートルダム女学院高等学校及び高大連携校9校からの早期入学予定者を対象とし、入学前に大学の授業を体験することで不安を解消するとともに大学で学ぶことの意味を考え、入学後の授業理解に役立つ講座を実施しました。

対象入試：ノートルダム女学院高等学校内部進学推薦、指定校推薦、AOI・II期、公募制推薦I・II期

参加率：56.7%(対象者67名、参加者38名)

- 13日(木) 10:30～10:45 開講式・オリエンテーション
10:45～12:15 ①学ぶ姿勢と大学活用法
13:10～14:40 ②学問的ものの見方・考え方
14:55～16:25 ③英語に親しむ

- 14日(金) 10:00～12:00 ④卒業研究発表会
13:10～14:40 ⑤図書館と情報の活用法
14:55～16:25 ⑥大学生のためのノート・レポートの書き方
16:25～16:35 修了式

受講生の声(アンケートより)

- ・大学で何をどうすべきかのイメージが少しつかめました。
- ・大学でやることの目標が増えました。
- ・問題に対しての原因を考えるのが、みんなそれぞれ意見が違って勉強になった。
- ・初対面の人とコミュニケーションを取りながら協力することができ、スピーキングやライティングを学んで授業の進め方が少し理解できた。



・入学前準備基礎講座(東進ハイスクール(ナガセ)提供通信講座)

希望者を対象に、業者が提供する通信講座(受講者負担)を提供しています。希望者は「数学基礎」「就職対策講座」「基礎英語」「国語表現力」をDVDで受講し、課題テストに取り組みます。

対象入試：ノートルダム女学院高等学校内部進学推薦、指定校推薦、AOI・II期、公募制推薦I・II期、一般I期、大学入試センター試験利用I期

受講率：12.3%(対象者408名、受講者50名)

ノートルダム女学院高等学校との連携授業

ノートルダム女学院高等学校プレップ総合コースの生徒を対象に、連携プログラムを実施しています。2019年度は、以下のとおり実施しました。なお、2020年度以降は、高校3年生を対象としたプログラムにも取り組んでいきます。

・高校1年生対象

2019年6月7日(金) 13:50～15:25

自己探求としての「リフレーミング」(伊藤一美教授)

7月14日(日)、8月3日(土)・4日(日)・18日(日)

オープンキャンパスに参加しよう(各ミニ講義)

10月11日(金) 13:50～15:25

みらいデザイン☆プログラム(米崎啓和教授・吉田朋子准教授・中村久美教授・佐藤純准教授・安川涼子講師・廣瀬直哉教授・河佐英俊准教授)

2020年2月7日(金) 13:50～15:25

女性の生き方とキャリアを考える①(青木加奈子講師・学生)

・高校2年生対象

2019年5月9日(木) 13:50～15:25

女性の生き方とキャリアを考える②(平野美保准教授・青木加奈子講師)

10月19日(土) 14:30～17:00

みらいデザイン☆ハイスクール(企画・運営：濱中倫秀講師・キャリア形成ゼミ受講生)

2020年1月15日(水) 13:50～15:25

みらいデザイン☆プログラム(神月紀輔教授・吉田智子教授)



manabaの利用状況

本学では、学生の主体的な学習を推進するため、インターネットを利用した授業支援システムであるmanabaを導入しています。manabaコース

の各機能(ニュース配信・小テスト・アンケート・レポート・プロジェクト等)を活用した授業数は、491件でした。

オリジナルサイト・Twitter開設

2019年10月1日(火)徳と知教育センターからND教育センターへの名称変更に合わせて、ND教育センターのオリジナルサイト及びTwitter、i-Spaceオリジナルサイトを開設しました。

在学生を中心に、基礎教養教育の場を効果的に提供するため、ND教育センターの概要、共通教育関連情報、i-Space関連情報、入学前教育・講座情報、本センター所掌の各種イベント情報を掲載しています。

オリジナルサイト <https://www.notredame.ac.jp/ndec/>
i-Space <https://www.notredame.ac.jp/ndec/i-space.html>
Twitter https://twitter.com/ndeducation_c/

徳と知教育センター報告会～2021年度に向けて～

徳と知教育センターは、2017年の本格始動から3年を迎えました。この間、「本学らしい学びの質的転換の推進役」を目指し、最優先課題と位置づけられている共通教育を中心に整備を進めてきました。2019年10月1日には「京都ノートルダム女子大学教育センター(ND教育センター)」に改称、2021年度に向けて本学教育の基盤となる共通教育科目のカリキュラム改革を中心に取り組んでいます。

9月24日(火)、これまでの歩みの結果である現在のセンターの取り組み状況や今後の活動の方向性を広く教職員に知らせるべく報告会を開催しました。2021年度は入学者選抜制度が大きく変わり、受験生たちの志望校選択に向けた熱い視線が注がれる時でもあるため、入試課、株式会社進研アドの協力も得て、今後の志願者の動向や入学前教育など本学の高大接続教育への取り組みについても紹介しました。



編集後記

2020年度も入学者全員必修の「ノートルダム学」の4月の授業で、ノートルダムのミッション・コミットメントの4つの動詞(尊ぶ・対話する・共感する・行動する)を、和田環理事長とともに学生に紹介しました。私が思いついた「覚え方」として、

「対話は Dialogue」、「共感」は Empathy、「行動」は Action、

その土台になるのが「尊ぶのRespect」なので、頭文字はDEAR(親愛なる)となります!

と紹介したところ、授業後のresponコメントに「ノートルダムの学生としてDEARを大切にしたいです!」と書いていた新生者が複数名いました。DEARでミッション・コミットメントの動詞を覚えるだけでなく、その一つ一つを大切に学生と接していきたいと思っています。

副センター長 吉田智子